

平成29年度法人本部事業報告

【社会福祉法人ふじの園基本理念】

キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します

1. 事業概況

平成 29 年 4 月から実質的に社会福祉法人改革がスタートしました。社会福祉法人は、地域福祉の中核的な担い手として、効率的かつ効果的な経営を実践し利用者の様々な福祉ニーズに対応していくことが求められました。当法人においても評議員会の設置、定款及び諸規則・規程類の改正、ガバナンスの強化や積極的な情報公開を推進するとともに地域貢献として社会福祉充実計画を作成しました。

平成 29 年度の法人の事業としては、法人運営の執行機関としての理事会は、定時理事会を 3 回開催し諸規則や諸規程の改正や事業計画や予算案等について審議しました。また、3 回の臨時の理事会を開催し、理事長の選定や一関藤保育園の園舎改築工事等について審議が行われました。6 月には法人の議決機関である評議員会が開催され、事業計画及び決算書、社会福祉充実計画、新理事及び監事の選任、役員等に関する報酬規程についての審議が行われ承認されました。

今後の課題としては、一関藤保育園の園舎改築工事及び認定子ども園への移行について、遺漏のないように進めることや一関藤の園においても国の社会的養護の方針が大きく変わったことから施設を取り巻く状況は大きく変わろうとしています。法人としても社会福祉法人改革が進行中であり、社会の情勢、地域の福祉ニーズを的確に捉え、今後とも法人・施設が一体となって事業を推進していきたいと考えています。

2. 理事会の開催状況

法人の業務が円滑に推進されるように必要に応じて理事会を次のとおり開催しました。

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
6 月 13 日 定 時 (第 1 回)	理事 6 名 監事 2 名	主に平成 28 年度の事業報告及び決算報告並びに社会福祉充実計画、新役員の提案、役員報酬規程等についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 一関藤の園に係る平成 28 年度資金収支予算の予備費の流用の専決処分について (2) 平成 28 年度の各施設の苦情に関する報告について 2. 審議事項 (1) 平成 28 年度各事業報告及び各決算報告の承認について 監事監査報告 (2) 社会福祉充実計画案の承認について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		(3) 新役員選任の提案について (4) 社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程について (5) 定時評議員会の招集案の承認について (6) 社会福祉法人ふじの園職員旅費規程の一部改正案の承認について (7) 一関藤の園に係る山目マリア院の活用方法について
6 月 13 日 臨 時 (第 1 回)	理事 6 名 監事 2 名	理事長の選定方について開催され、中西秀吉理事が理事長に満場一致をもって選定されました。また、中西理事長から常務理事として渡部俊幸理事が任命されました。 1. 審議事項 (1) 理事長の選定について (2) 常務理事の任命について (3) 社会福祉法人ふじの園職員旅費規程の一部改正案の承認について
9 月 5 日 臨 時 (第 2 回)	理事 5 名 監事 2 名	職員給与規程及び嘱託職員等給与規程の一部改正案並びに一関藤保育園園舎改築計画の基本構想案とタイムスケジュール案を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 一関藤保育園に係る平成 29 年度県南広域振興局指導監査課による指導監査結果と是正改善結果について (2) 一関藤の園に係る駐車場の賃貸借契約及び整備工事の報告について (3) 理事長の職務執行状況の報告について 2. 審議事項 (1) 一関藤保育園職員給与規程の一部改正（案）の承認について (2) 一関藤の園及び一関藤保育園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (3) 一関藤保育園園舎改築計画の基本構想及びタイムスケジュール案の承認について (4) 各施設の平成 29 年度資金収支補正予算案の承認について
11 月 15 日 定 時 (第 2 回)	理事 6 名 監事 2 名	定款細則、育児・介護休業に関する規則、職員旅費規程、職員就業規則、一関藤の園に係る入所児童定員変更案等の審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 一関市による社会福祉法人指導監査結果及び県南振興局指導監査課による一関藤の園の指導監査結果と是正改善結果について (2) 一関藤の園に係る山目マリア院の所有権移転登記の完了について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		2. 決議事項 (1) 社会福祉法人ふじの園定款細則の一部改正案の承認について (2) 社会福祉法人ふじの園育児・介護休業等に関する規則の一部改正案の承認について (3) 社会福祉法人ふじの園職員旅費規程の一部改正案の承認について (4) 一関藤の園及び一関藤保育園の職員就業規則の一部改正案の承認について (5) 一関藤の園及び一関藤保育園の嘱託職員等就業規則の一部改正案の承認について (6) 一関藤の園職員給与規程の一部改正案の承認について (7) 一関藤の園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (8) 一関藤の園入所児童定員変更案の承認について (9) 法人本部及び各施設の資金収支補正予算案の承認について (10) 定款変更の議案を評議員会に提出することについて
12月12日 臨時 (第3回)	理事6名 監事2名	一関藤保育園園舎改築工事に係る基本構想、今後のスケジュール案、基本設計業務委託の随意契約締結案、資金収支補正予算案等を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 平成29年度社会福祉法人指導監査結果の是正改善内容の一部変更について 2. 決議事項 (1) 一関藤の園職員給与規程の附則の一部改正案の承認について (2) 一関藤の園嘱託職員等給与規程の附則の一部改正案の承認について (3) 一関藤保育園園舎改築工事に係る基本構想案について (4) 一関藤保育園園舎改築工事に係る今後のスケジュール案について (5) 一関藤保育園園舎改築工事に係る基本設計業務委託の随意契約締結案について (6) 一関藤保育園に係る資金収支補正予算案の承認について
3月23日 定時 (第3回)	理事6名 監事2名	職員給与規程及び嘱託職員等給与規程、一関藤保育園運営規程、一関藤保育園基本設計案、平成30年度の事業計画案及び当初予算案等について開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 一関藤保育園園舎改築工事に係る基本設計業務委託契約の締結について (3) 一関藤保育園に係る「保育園ゆいま〜る」との連携施設に関する協定書の締結について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		(4) 一関藤の園に係る入所児童の傷害事件について (5) 一関藤の園に係る平成 29 年度進学支援寄附金給付事業について (6) 平成 30 年度一関藤の園及び一関藤保育園の職員体制について 2. 決議事項 (1) 一関藤の園及び一関藤保育園の職員給与規程の一部改正案の承認について (2) 一関藤の園及び一関藤保育園の嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (3) 一関藤保育園運営規程の一部改正案の承認について (4) 一関藤保育園園舎改築工事に係る基本設計案の承認について (5) 平成 29 年度の法人本部及び各施設の資金収支補正予算案の承認について (6) 平成 30 年度の法人本部及び各施設の事業計画案の承認について (7) 平成 30 年度各拠点区分から法人本部拠点区分への繰入案の承認について (8) 平成 30 年度法人本部及び各施設の資金収支当初予算案の承認について

3. 評議員会の開催状況

法人の議決機関として評議委員会を次のとおり開催しました。

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
6 月 20 日 定 時 (第 1 回)	評議員 6 名 欠席 1 名	平成 28 年度の各事業報告及び決算報告、社会福祉充実計画、新理事及び監事の選任、社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程の審議について開催され、提案のとおり承認されました。 1. 決議事項 (1) 平成 28 年度各事業報告及び各決算報告の承認について (2) 社会福祉充実計画について (3) 新理事・監事の選任について (4) 社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程について

書面による決議

- (1) 評議員会の決議の目的である事項の提案日 平成 29 年 11 月 17 日
- (2) 評議員会の決議があったものとみなされた日 平成 29 年 11 月 25 日
- (3) 決議事項を提案した者の氏名 理事長 中西 秀吉
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名 常務理事 渡部 俊幸
- (5) 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
議案第 1 号 基本財産（建物）の取得に伴う定款変更について

4. 監事による監査

期 日	出席者数	主 な 内 容
29 年 6 月 2 日	監事 2 名	平成 28 年度事業・決算監査及び平成 29 年 3 月分の出納調査
29 年 8 月 28 日	監事 2 名	平成 29 年 6 月分の出納調査
29 年 11 月 9 日	監事 2 名	平成 29 年 9 月分の出納調査
30 年 2 月 15 日	監事 2 名	平成 29 年 12 月分の出納調査

5. 会計事務所による監査

監査実施者	主 な 内 容
熊谷税務会計事務所	毎月 1 回、経理区分ごとに元帳及び月次試算表の精査 伝票と証憑書類の突合

6. 県南広域振興局による指導監査

日 時	対象施設	主 な 内 容
29 年 7 月 27 日	一関藤保育園	文書指摘事項 2 件
29 年 9 月 12 日	法 人	文書指摘事項 4 件 口頭指摘事項 1 件
29 年 9 月 26 日	一関藤の園	指摘事項なし

法人については平成 29 年 11 月 27 日に一関市へ、一関藤保育園については平成 29 年 8 月 23 日に県南広域振興局へ是正改善結果を提出しました。

7. 登記関係

日 時	主 な 内 容
29 年 7 月 7 日	資産総額の変更登記 平成 29 年 3 月 31 日変更 資産総額 15 億 9,142 万 1,804 円を 16 億 4,611 万 4,932 円に変更
29 年 7 月 13 日	役員に関する事項 (重任登記)
29 年 9 月 19 日	寄宿舍 (山目マリア院) 鉄筋コンクリート造陸屋根、ルーフィング葺 3 階建 床面積 392.85 m ² カトリック殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会より平成 29 年 4 月 1 日贈与

8. 定款変更

日 時	主 な 内 容
29 年 11 月 25 日	基本財産 (建物) の取得に伴う定款変更 岩手県一関市山目字館 2 番地 5 の 3 (家屋番号) 一関藤の園 寄宿舍 (マリア院) 鉄筋コンクリート造陸屋根、ルーフィング葺 3 階建 床面積 392.85 m ²

9. 業務連絡会議及び研修

日 時	主 な 内 容	参 加 者
29 年 9 月 4 日	一関藤保育園園舎改築工事の打合せ 他	中西理事長他 6 名
29 年 11 月 14 日	指導監査結果と是正改善について 他	中西理事長他 6 名

日 時	主 な 内 容	参 加 者
29 年 12 月 11 日	理事会の議案の説明 他	中西理事長他 6 名
30 年 3 月 22 日	一関藤保育園園舎改築工事の打合せ 他	中西理事長他 6 名

10. 苦情解決に関する状況

	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第三者委員	受付件数
法人本部	渡部 俊幸（法人事務局長） 石田 政彦（法人事務員）	中西 秀吉（法人理事長）	石津 幸作（民区区長） 鈴木美樹子（大学教授） 西田 泰樹（地域代表）	なし
一関藤の園	佐藤 道也（基幹的職員） 千葉 幸江（保育士）	渡部 俊幸（園 長）	小山 峯雄（地域代表） 狩原 光子（元教員）	1 件
一関藤保育園	渡邊 久美子（副園長）	斎藤 志華子（園 長）	久保田文吾（歯科医師） 米田 剛史（公務員）	1 件

11. 苦情解決処理状況の概要

事業所名	申 出 人	人 員	苦情の内容（件数）				処 理 数		
			虐待・放 置・脅迫・ 詐欺等	ケアの内容 に関わる事 項	個 人 の 嗜 好・選択に 関わる事項	その他	施設・事 業所内で 解決した もの	第三者委員 （会）の助 言等を得た もの	施設・事業 所内で解決 にいたらな かったもの
法人本部	0	0							
一関藤の園	1			1				1	1
一関藤保育園	1			1			1		
計	2			2			1	1	1

12. 情報公開

	役 員 名 簿	財 産 目 録	事 業 計 画 書	事 業 報 告 書	第 三 者 評 価 結 果	苦情処理 結 果	貸 借 対 照 表	資金収支 報 告 書	事業活動 計 算 書
ホームページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広 報 誌 （一関藤の園）			○	○	○	○	○	○	○

平成29年度一関藤の園事業報告

1. 施設運営

- 1 計画の基本理念 「一人ひとりが活躍できる施設づくり」
- 2 計画の基本方針 「一人ひとりがかけがえのない存在であることを認め合い、その個性を尊重し主体的に生き活きと活動することを通して、藤の園に集う全ての人が活躍できる施設を目指します」
- 3 計画の基本目標
 - (1) 施設運営管理関係「職員・利用者・地域の満足度を高める施設づくり」
 - (2) 養育関係「利用者の満足度を高める養育・支援の仕組みづくり」
 - (3) 人事・労務・研修関係「職員の働きがいを高める職場づくり」
 - (4) 機能強化「地域と連携し地域の福祉ニーズに応える施設づくり」

【平成29年度施設運営の総括】

平成29年度は、第3次中長期事業計画（平成28年4月1日～平成32年3月31日）の2年目にあたります。計画の基本理念を「一人ひとりが活躍できる施設づくり」とし、基本目標として4項目を設け、それぞれの基本目標に対して重点施策を掲げ事業の推進を図りました。

平成29年度は、創立当初から施設運営に大きく関わり、施設の精神的な支柱でもあった殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会の修道女（シスター）が一関市から離れることになり、施設長が交代し大きな変化のあった1年でした。

新体制下では、複数の基幹的職員等を配置するとともに主任会議を適宜開催するなど風通しの良い職場環境を意識し「報告・連絡・相談」を徹底し事業の推進を図りました。マリア院については、殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会からのご寄附を受け、心理療法のための部屋や調理実習、実習生の宿泊施設などに活用しました。また、カトリックの精神をどのように受け継いでいくかが大きな課題でしたが、基本理念や聖書の研修会の開催、教会ミサやマリア祭などの行事を継続的に実施し今まで築き上げてきた精神を大切にすることに努めました。

施設運営の事業計画では、「職員・利用者・地域の満足度を高める施設づくり」を施設運営の基本目標としてとし、7項目を重点施策に掲げ取り組みました。7項目の重点施策の自己評価は、A2/7、B4/7、C1/7という結果でした。「地域交流と地域貢献活動」、「ネットワークの再構築」をA評価とし、「家庭的養護推進計画の着実な実施」についてはC評価としました。施設運営のキーワードは、「組織的」ということであり、改めて組織的な対応や仕組みが求められていることを意識し組織としてのシナジー効果を更に高めていきたいと考えています。

平成29年8月に「新しい社会的養育ビジョン」が発出され、今後、児童養護施設を取り巻く環境は、徐々に変化しビジョンに沿った形に移行し施設の高機能化、地域分散化が更に加速していくものと思われます。経営的には安定していると言えますが、人材の確保、教育、定着を図りながら、利用者のニーズや地域のニーズに応えられるような施設運営を更に目指していきます。

1－(1) 平成29年度の主な出来事

日 時	主 な 出 来 事
4 月 1 日	本園入所児童 40 名、地域小規模児童養護施設 6 名、計 46 名でスタート
4 月 11 日	山目マリア院閉鎖 マウエル元園長他修道女（シスター）一関市から赴任地へ
4 月 16 日	ご復活 教会ミサ（支援者・団体への挨拶回り 4 月 15 日）
4 月 23 日	C A P ワークショップ（23 日～24 日）
4 月 29 日	園遊会
4 月 30 日	胆江地区里親会総会（2 名出席）
5 月 15 日	開園記念日（郷土食である餅の昼食会 5 月 14 日）
5 月 17 日	職員健康診断（予防医学協会）
5 月 21 日	両磐地区里親会総会
5 月 24 日	一関児童相談所との連絡協議会
5 月 25 日	一関西消防署による査察
6 月 10 日	自治会主催の児童と職員のスポーツ大会
6 月 13 日	法人定時理事会（平成 28 年度事業報告・決算他の審議）
6 月 28 日	法人臨時理事会（役員の選定他） 定時評議員会（役員の承認、決算の承認他）
7 月 5 日	福祉総合相談センターとの連絡協議会
7 月 18 日	宮古児童相談所との連絡協議会
7 月 26 日	転地養護（～27 日 気仙沼 大島）
8 月 8 日	水害、土砂災害を想定した避難訓練
8 月 20 日	マリア祭
8 月 26 日	一関中央ライオンズクラブによる藤の園夏祭り開催
8 月 31 日	マリア院の改修工事（心理療法、食育、実習生の宿泊施設として利用）
9 月 5 日	法人臨時理事会（一関藤保育園園舎改築工事関連他の審議）
9 月 26 日	県南広域振興局指導監査課による指導監査
10 月 11 日	一関児童相談所との連絡協議会
11 月 15 日	法人定時理事会（規程等の一部改正 資金収支補予算等の審議）
11 月 19 日	地区消防団との総合防災訓練
12 月 7 日	保健所による給食検査
12 月 12 日	法人臨時理事会（一関藤保育園園舎改築工事関連他の審議）
12 月 15 日	クリスマス会（支援者・団体への挨拶回り 12 月 16 日）
12 月 18 日	一関年金事務所による社会保険事務調査
12 月 31 日	大晦日 年越しのお祈り
3 月 10 日	児童と里親との交流会及び連絡協議会
3 月 23 日	法人定時理事会（平成 30 年度事業計画、当初予算等の審議）
3 月 24 日	新年度体制の発表

1-(2) 平成29年度の施設運営重点施策の自己評価

重点施策項目		評価	具体的な成果や問題点・課題
1	新組織体制による円滑な業務の遂行	B	新体制のもと、施設長の補佐的な役割として基幹的職員等を配置するとともに主任会議を適宜開催し運営の方向性を示し事業を推進しました。基本的な業務の励行、情報の共有化、役割分担の明確化などを意識し円滑な業務の遂行に努めました。
2	サービスの向上に向けた取組	B	利用者アンケート等の結果から提供されているサービスについて肯定的に捉えているように思われます。概ね第三者評価の項目に沿った形でサービスを提供されていますが、充足されていない項目も散見されます。サービス向上の取組みの仕組み作りが課題として挙げられます。
3	家庭的養護推進計画の着実な実施	C	家庭的養護推進計画第1期（平成31年度まで）について、地域小規模児童養護施設を1か所増やす計画ですが、賃貸物件が見つからず平成29年度は特に進展はありませんでした。また、マリアホームについて、賃貸物件が老朽化していることから転居も検討課題となっています。
4	事故防止と安全対策の確立	B	リスクマネジメント委員会が中心となり事故防止と安全対策の確立に努めました。平成29年度は、風水害を想定した避難訓練、地域の消防団との連携による総合防災訓練を実施しました。ヒヤリ・ハットについては、職員が意識したこともあり件数が増加しました。
5	地域交流の促進と地域貢献活動の実施	A	地域との交流については、施設行事へ地域住民に参加を呼び掛けたり民区行事やスポーツ少年団活動については例年通りの取組みができました。困窮者対策としての「あんしんサポート事業」について、一関市社会福祉協議会と連携し3世帯の支援を継続的に実施しました。
6	コスト管理と業務の効率化	B	コスト管理については、水道光熱費や消耗品費等の節約に努めるとともに県内の児童養護施設の決算書を比較し、当施設の状況を把握し参考としました。今後、経営改善の基礎となる人材を確保し適正な人員配置を図りながら業務の効率化や改善を図ります。
7	ネットワークの再構築	A	前園長の退任に伴い、そのネットワークの継続に努めました。教会関係者や支援者とも従来通りに関係性が保たれていると思われます。児童の支援については、適宜、児童相談所、学校、関係組織と協議会を開催するなど連携の強化を図りました。

※評価 A・・・十分な取り組みができた B・・・ほぼ取り組めた C・・・取り組みが不十分であった

1-(3) 会議・委員会の開催状況

会 議 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
職 員 会 議	4/12 4/19	5/10	6/7	7/5	8/23	9/6	10/4	11/1	12/6	1/17	2/7	3/17	13
ケ ー ス 検 討 会 議		5/17	6/21			9/13		11/15					4
自 立 支 援 会 議 (各ホームは7、1月)						9/13 9/20					2/14 2/21		4
企 画 委 員 会	4/12	5/10	6/7		8/23	9/6 9/20	10/18	11/1	12/6	1/10		3/7	11
リスマネ委員会	4/26	5/24	6/28		8/30		10/11		12/20		2/7	3/14	8
給 食 委 員 会	4/26			7/5				11/15				3/7	4
安 全 委 員 会			6/14			9/20					2/28		3
感染症対策委員会		5/24			8/30			11/8		1/24			4
性 教 育 委 員 会			6/14 6/28			9/20	10/11		12/20			3/14	6
苦情等解決委員会						9/13							1
広 報 委 員 会	4/19				8/30			11/15					3

※ 主任会議・ホーム会議・学習支援会議を適宜開催

1-(4) 関係機関との連絡会議等の状況

日 時	機 関 名	参加職員	会 議 の 内 容
29. 4. 30	胆江地区里親会総会	1	総会に出席し意見・情報交換
29. 5. 21	両磐地区里親会総会	1	総会に出席し意見・情報交換
29. 5. 20 29. 10. 11	一関児童相談所	25 7	入所児童について意見・情報交換
29. 7. 5	岩手県福祉総合相談センター	10	入所児童について意見・情報交換
29. 7. 18	宮古児童相談所	7	入所児童について意見・情報交換
29. 9. 23	三地区里親合同研修会	1	里親と意見・情報交換
30. 3. 10	両磐・胆江地区里親との連絡会	14	里親と意見・情報交換
年 2 回	一関市地域福祉推進会議	1	一関市知育福祉推進計画の意見交換
年 3 回	山目小学校との連絡協議会	21	児童についての定期的な意見・情報交換
年 3 回	山目小学校評議員会議	1	小学校の運営等に関する意見・情報交換
年 1 回	一関市要保護児童対策地域協議会	1	保護児童対策の取り組み実績と今後の計画
年 4 回	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
年 5 回	一関地区障害者地域自立支援協議会	1	こども支援部会としての活動
年 2 回	里親委託等推進委員会	2	里親委託推進の意見・情報交換
随 時	民区役員会・世話人会	1	民区の役員として役員会等に出席

1－(5) 一時保護委託・子育て支援事業の利用状況

事業名	利用家族数	利用人数	利用延べ日数	事業内容
一時保護委託	2 家庭 (3 家庭)	2 名 (3 名)	18 日 (39 日)	一関児相からの一時保護委託
ショートステイ事業	11 家庭 (6 家庭)	13 名 (6 名)	27 日 (31 日)	短期間の宿泊を含む養育支援
トワイライト事業	0 家庭 (0 家庭)	0 名 (0 名)	0 日 (0 日)	一定時間の預かり

() 内は前年度実績

1－(6) 要望等解決事業の状況

要望・苦情内容	申 立 人					第三者への申立て
	小学生	中学生	高校生	その他	計	
他児への苦情・要望						
設備等への苦情・要望						
職員への苦情・要望						
養育・食事に対する苦情・要望	1				1	0
家族からの苦情・要望						
計	1				1	0

要望ノートによる児童からの要望等の受付件数は 548 件 (前年 364 件)

1－(7) 視察・見学者の状況

年 月	所 属	人 数	備 考
29. 05. 16	西松建設 浅野氏他	4	《見学の内容》 ・施設の歴史及び概要 ・建物及び設備の説明 ・入所児童の状況 ・施設からの要望等
29. 07. 21	専修大学北上福祉教育専門学校	14	
29. 08. 24	大阪大谷大学 井上寿美氏他	2	
29. 09. 21	児童養護施設 大洋学園	5	
29. 09. 28	児童養護施設 藤聖母園	4	
29. 10. 02	児童養護施設 大洋学園	5	
29. 10. 03	児童養護施設 みちのくみどり学園	15	
29. 10. 18	児童養護施設 みちのくみどり学園	15	
29. 10. 18	大東高校 2 年生	1	
29. 11. 21	長崎県児童養護施設協議会	24	
29. 12. 22	里親家族	3	
30. 03. 10	両磐・胆江地区里親会	14	
計		106	

1－(8) 情報公開の状況

情報公開ツール	内 容	部 数
広報誌 いちのせき藤の園 2017 年 6 月号	園長所感、行事、平成 28 年度事業報告及び決算等 平成 29 年度事業計画 苦情事業	500 部
広報誌 いちのせき藤の園 2017 年 9 月号	園長所感、行事紹介等	450 部
広報誌 いちのせき藤の園 2018 年 1 月号	園長所感、行事紹介等	500 部
ホームページ (www.fujinosono.or.jp)	施設概要、平成 28 年度事業及び決算報告 平成 29 年度事業計画、第三者評価結果等	

1－(9) 実習生の受入状況

学 校 名	人数	実 習 期 間	実 習 内 容
東北文化学園専門学校	1 人	5 月 15 日～5 月 27 日	《研修内容》 ・ 児童援助技術の習得 ・ 施設見学 ・ 基本理念について ・ 児童福祉の動向について ・ 心理療法について ・ ケースカンファレンス ・ グループホーム見学 ・ 食育について ・ 家庭支援・里親について ・ 個別対応について ・ 安全委員会について ・ 看護師業務について など
専修大学北上福祉教育専門学校	2 人 1 人 1 人	5 月 15 日～5 月 24 日 6 月 5 日～6 月 14 日 12 月 4 日～12 月 13 日	
仙台医療福祉専門学校	2 人	5 月 29 日～6 月 8 日	
仙台青葉学院専門学校	2 人	5 月 29 日～6 月 8 日	
尚絅学院大学	4 人	6 月 12 日～6 月 21 日	
東北福祉大学	3 人 2 人	6 月 26 日～7 月 5 日 8 月 8 日～8 月 11 日	
高崎健康福祉大学	4 人	6 月 26 日～7 月 7 日	
仙台子ども専門学校	1 人 1 人	7 月 28 日～8 月 6 日 9 月 2 日～9 月 11 日	
修紅短期大学	4 人 4 人 4 人	7 月 28 日～8 月 8 日 8 月 17 日～8 月 28 日 9 月 1 日～9 月 12 日	
宮城学院女子大学	3 人	8 月 17 日 8 月 26 日	
聖和学園短期大学	1 人	9 月 1 日～9 月 11 日	
宮城誠真短期大学	1 人	9 月 14 日～9 月 24 日	
盛岡大学	2 人	9 月 14 日～9 月 24 日	
盛岡大学短期大学	2 人	10 月 30 日～11 月 8 日 11 月 13 日～11 月 22 日	
石巻専修大学	1 人	2 月 5 日～2 月 19 日	
東北女子短期大学	2 人	2 月 19 日～2 月 28 日	
関東学院大学	1 人	2 月 26 日～3 月 8 日	
平成 29 年度合計 受入校 17 校	49 人		
平成 28 年度合計 受入校 14 校	46 人		

1-10 ボランティアの受入状況

日 時	団体(個人)名	人数	活 動 内 容
年 間	高橋 竜	1	散髪
年 間	斎藤 成子	1	幼児との関わり
年 間	佐藤 久美子	1	幼児との関わり
年 間	遠藤 深雪	1	幼児との関わり
年 間	齊藤 三将・友香	2	幼児との関わり
年 間	浪越 和彦	1	数学の学習指導
年 間	佐藤 公人	1	数学の学習指導
年 間	スティーブンスブライアント・有希	2	学習ボランティア
年 間	命のパン		パンや果物の支援 (毎週)
年 間	セブンイレブン中里店		年間を通しての食べ物の支援
年 間	小山 菊子		年間を通しての野菜等の支援
年 間	岡山友の会		手作りお菓子
年 間	伊藤 勝利		段ボールの回収
年 間	パーラー J 遊・ウインズ一関		お菓子の寄贈
年 間	J Aいわて平泉		野菜・果物等の寄贈(毎月)
29. 04. 29	千葉 美和	1	学生ボランティア、行事の手伝い
29. 07. 30	佐々木 瀬菜	2	学生ボランティア、児童との関わり
29. 8. 1～4	木村 輝彦	1	学生ボランティア、児童との関わり
29. 8. 1～5	みらいの森		サマーキャンプ(14名参加)
29. 08. 24	やまなか家 一関支店		焼肉の招待 (50名招待)
29. 08. 26	一関中央ライオンズクラブ	20	夏祭り、夜店
29. 09. 03	丸山富仁他	17	バーベキュー
29. 09. 03	林 裕美子	3	ソプラノコンサート(マリア院聖堂)
29. 09. 30	人形劇○の会	4	人形劇 (交流ホール)
29. 10. 15	プロレスリング FREEDOMS		プロレスの招待 (6名招待)
29. 11. 12	ナネッテクリスチン、園城三花	2	ピアノ・フルートコンサート (体育館)
29. 11. 17	フィリップモリス・ジャパン	10	グラウンドの環境整美
29. 11. 23	修紅短期大学		ファンタジックコンサート(35名招待)
29. 12. 05	一関地区遊技業協同組合	15	サンタニコラオのプレゼント
30. 01. 29	イオン一関店	4	節分の豆まき
30. 2. 2～4	花山青少年の家		スノーキャンプ

(敬称は略) ※食料品、衣類、文具等の物品の支援は年間 258 件 (前年 295 件)

1-(11) 安全・安心を守る取り組み

項 目	内 容
避難訓練	毎月1回、地震や火災を想定した消火訓練、避難訓練を実施
近隣住民との防災訓練	近隣住民と防災訓練を実施し、非常食の試食等を行いました
施設内外の危険箇所の点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による施設内外の危険箇所を点検し安全対策を講じました
遊具の安全点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による遊具の安全確認を実施するとともに年1回、専門業者による遊具の安全点検を行いました
非常食の備蓄	災害時に備え、非常食の備蓄を行いました（100人分×3日分）
災害時の備品等の購入	災害時等に備え乾電池、救急セット等を購入しました
CAP子どもワークショップ	小学生を対象とした「安心・自信・自由」をキーワードに自分の身を守る方法等のワークショップを実施しました
マニュアル等の見直し	防災関係のマニュアルをはじめ災害時の安否確認方法や連絡網の整備を行いました

1-(11)-① 避難訓練の状況

月 日	想 定	参加者	目 的
29. 4. 29	調理室からの出火	50	避難経路、幼児介助及び職員の役割確認
29. 5. 25	震度5弱の地震（余震あり）	52	指示に従って落ち着いて避難する
29. 6. 11	東側3階からの出火	46	避難経路、幼児介助及び職員の役割確認
29. 7. 16	親子訓練室からの出火	32	自衛消防組織を中心とした避難行動
29. 8. 8	集中豪雨による水害・土砂災害	46	指定避難場所への的確な避難行動
29. 8. 23	1階西側ホームからの出火	46	避難経路の確認、速やかな幼児介助
29. 9. 28	プレイルームからの出火	16	避難経路の確認、速やかな幼児介助
29. 10. 29	2階東側ホームからの出火	45	避難経路の確認、速やかな幼児介助
29. 11. 19	地域との防災訓練	38	消防団との連携による外部火災の対応
29. 11. 25	1階西側ホームからの出火	47	避難経路、幼児介助及び職員の役割確認
29. 12. 18	震度5強の地震 調理室からの出火	18	避難経路、幼児介助及び職員の役割確認
30. 1. 20	調理室からの出火 通報訓練	45	正確な通報 職員緊急連絡網の確認
30. 2. 4	震度5弱の地震	38	避難経路の確認 的確な幼児介助
30. 3. 19	地震（震度5）後調理室からの出火	50	総合避難訓練

1-(11)-② ヒヤリ・ハットの状況

	幼 児	小1～小3	小4～小6	中学生	高校生	計
男 児	10	41	8	12	2	73
女 児	28	7	12	3	2	52
計	38	48	20	15	4	125
率	30%	39%	16%	12%	3%	100%

前年度ヒヤリ・ハット提出件数 43 件

2. 養育関係

平成29年度養育の基本目標 『利用者の満足度を高める養育・支援の仕組みづくり』

【平成29年度養育関係の総括】

平成29年度は、「利用者の満足度を高める養育・支援の仕組みづくり」を目標に掲げ、6項目を重点施策として取り組みました。ユニットでの生活も5年目に入り、一定の基盤はできてきましたが、被虐待児童や生きづらさを抱えた児童の増加など問題行動に繋がるケースが頻発し、その対応に追われました。その都度、ユニット職員と専門職等が協力し対応しましたが解決に至っていないケースもあり今後とも学校や関係機関と連携して対応していくことが求められています。

昨年度から引き続き、「あめみや夢基金」を活用し夏休みに全員で1泊での海水浴に行ったりホームごとに旅行を企画し実施するなど楽しい行事もありました。また、ボランティアによる演奏会や人形劇、招待行事なども多々あり、色々な体験を通して児童の健全育成に寄与して頂いております。

数年前から児童個々の学力に応じた学習支援を行なってきましたが、今年度から高校卒業後の進学支援について、進学支援寄附金給付事業を本格的に開始し2名の男子児童に対して入学金や学費を全額給付し進学を支援することができました。併せて、高校生を対象として退所後の生活を想定した生活自立訓練を積極的に実施しました。普段の生活では児童の意向や要望をできるだけ取り入れるためにホーム会議や自治会を定期的に開催するとともに要望ノート等を活用し生活に反映することに努めました。

2-1(1) ユニットの編成（平成30年3月1日現在）

区 分	ホーム名	居室児童数		
		男	女	計
本 園	ミカエルホーム	6	0	6
本 園	フランシスコホーム	4	2	6
本 園	ガブリエルホーム	1	6	7
本 園	ルカホーム	3	4	7
本 園	ラファエルホーム	2	6	8
本 園	テレサホーム	7	0	7
地域小規模児童養護施設	マリアホーム	2	4	6
合 計		25	22	47

2-② 平成29年度の養育関係重点施策の自己評価

	重点施策項目	評価	具体的な成果や問題点・課題
1	子ども本位の 養育・支援の実践	A	毎月のホーム会議や自治会等により児童の意向を把握するとともに利用者アンケートを実施しました。自治会主催のスポーツ大会、転地養護の行先など児童の意向を取り入れた行事を行いました。また、日々の生活においても丁寧に児童に関わり、子どもたちからの相談や意見を積極的に把握することに努めました。
2	権利擁護の推進	B	権利擁護のチェックリストによる自己点検、権利擁護の研修会に参加など権利擁護の推進に努めました。また、権利ノートの読み合せを子どもと行うとともに毎月の安全委員会の聞き取り調査では担当職員による個別の聞き取りを丁寧に行い、子ども同士の不適切な関わりなどの防止に努めました。
3	アセスメントと自立支援 計画の有効活用	A	自立支援計画の策定にあたっては、従来の見直しの時期を早め、十分議論したうえで作成するようにしました。より具体的な実効性のある計画とするためにアセスメントを十分に行うとともに専門職とも意見交換しながら計画を作成し児童個々の目標については、職員間で共通認識を持って支援するために全体会を開催しました。
4	学習・進学支援・進路 指導等の充実	B	小学生対象の学習支援が定着し、学力の向上に繋がっています。中学生には学習ボランティアの協力も得て、受験生4人とも志望高に合格することができました。また、高校卒業後の進学支援について、進学支援寄附金給付事業を立ち上げ、2名の卒園生が専門学校等に進学することができました。
5	専門職員とユニット職員の 連携とスーパービジョンの 確立	B	平成29年度は児童の問題行動等がありユニット職員と心理療法担当職員が中心になり児童の支援に努めました。問題行動を繰り返さないためのプログラムを作成し、そのプログラムに沿った支援を組織的に行うことができました。また、看護師による児童の健康管理や学習支援員による学習指導など専門職とユニット職員との連携が図られています。
6	家族への支援	A	平成29年度から家庭支援専門相談員2名（1名は専従、1名は兼任）を配置し家族の支援に努めました。家庭復帰に向けては、児童相談所と協働しながら家庭訪問や面談を実施し家族の再統合を図りました。退所後も家庭訪問を実施するなど計画的にアフターケアを実施するなど専門職としての業務が確立しました。

※評価 A・・・十分な取り組みができた B・・・ほぼ取り組めた C・・・取り組みが不十分であった

2-③ 自治会の開催状況

実施日	参加児童	参加職員	会 議 内 容
29. 4. 16	17	3	園遊会について 安全委員会の聞き取り調査について 新しい行事について 村田心理士から「性格について」の講話
29. 5. 28	19	3	園遊会の反省 大船渡市長杯球技大会について 転地養護に ついて 利用者アンケートの結果について 交流大会につ いて
29. 7. 2	20	2	交流大会の反省 大船渡市長杯球技大会の反省 転地養護のルールについて
29. 7. 16	19	4	転地養護について 自立支援計画（自立）について 就職につ いて
29. 8. 20	21	3	進学支援寄附金給付事業について 今後の行事について 転 地養護の反省 夏休みの生活の反省
29. 9. 17	19	5	子ども給食委員会について ふれあいソフトボール大会の反 省 今後の行事について 村田心理士から「注意力」について
29. 10. 15	16	3	利用者アンケートについて 福光園の慰問について 転地養 護について 村田心理士から「やる気」について
29. 11. 26	18	2	福光園慰問の反省 クリスマス会と子どものクリスマス会に ついて 転地養護（第2班）について
29. 12. 17	18	3	自転車の使用について クリスマス会の反省 子どもクリ スマス会について 冬休みの生活について 村田心理士から
30. 1. 26	19	3	転地養護（第3班）の予定について 卒園生を送る会について 村田心理士から
30. 2. 18	16	3	卒園生を送る会について 新役員選出 リスクマネジメント 委員会から マンガ本の保管場所について 村田心理士から
30. 3. 25	19	4	新役員の紹介 春休みのホーム目標 生活について 村田心理士から「ストレス」について

2-④ 一時里親事業の状況

	対 象 児 童	実 施 期 間	日 数	委 託 先	措置機関
夏 季	小学1年男児	29. 08. 11 ～ 29. 08. 15	5	奥 州 市	一関児相
	小学4年男児	29. 08. 10 ～ 29. 08. 14	5	奥 州 市	宮古児相
冬 季	年 中 女 児	29. 12. 29 ～ 29. 12. 29	1	奥 州 市	一関児相
	小学1年男児	29. 12. 30 ～ 30. 01. 03	5	奥 州 市	一関児相
	小学4年男児	29. 12. 30 ～ 30. 01. 03	5	奥 州 市	宮古児相

2-⑤ 家庭生活体験（週末里親）事業

期 間	対 象 児 童	回 数	委託延日数	委 託 先
年 間	年 中 女 児	2	2	奥 州 市
年 間	小学4年男児	17	65	奥 州 市
年 間	小学1年男児	11	25	奥 州 市

2-⑥ 施設機能強化推進対象事業の状況

実施日	名 称	参加者	内 容
29. 4. 29	園遊会	200	地域の方々、里親等を招待して園遊会を実施しました
29. 6. 25	大船渡市長杯児童施設球技大会 (参加児童 33 名、職員 11 名)	44	球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました
29. 8. 14	卒園生との交流会 (卒園生 14 名、在園生他 10 名)	30	在園生と卒園生が野球を通じて交流を深めました
29. 8. 27	ふれあいソフトボール大会 (参加児童 19 名、職員 10 名)	29	球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました
29. 9. 24	岩手県 B B S 児童球技大会 (参加児童 33 名 職員 11 名)	44	岩手県 B B S 児童球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました
29. 12. 19	クリスマス会 (参加児童 46 名 来賓 72 名 他)	156	地域の方々を招いてクリスマス会を行い交流を深めました
年 間	ユニットホーム自主行事		映画鑑賞、温泉入浴、スケート等各ユニットで行事を実施しました
年 間	食育（野菜の栽培）		食育の一環として、近隣の畑を借りて野菜を栽培しています
年 間	ユニット行事（自主献立）		各ユニットでメニューを考えて材料の購入、調理を実施しました
年 間	総合防災対策強化事業		非常時に備え、非常食や備品を備蓄しました

2-⑦ あめみや夢基金活動の状況

実施日	活 動 内 容	対象児	参加人数
29. 5. 14	郷土食食事会（餅料理）	幼児・学童	52
29. 7. 1～2	ホーム旅行（ガブリエルホーム）那須ハイランド他	幼児・学童	11
29. 7. 26～27	転地養護（気仙沼：大島）	幼児・学童	54
29. 11. 3	ホーム旅行（ミカエルホーム）東京モーターショー他	学 童	5
29. 11. 3～4	ホーム旅行（テレサホーム）スパリゾートハワイアンズ他	幼児・学童	8
29. 11. 4～5	ホーム旅行（ルカホーム）八景島シーパラダイス他	幼児・学童	11
29. 11. 4～5	ホーム旅行（フランシスコホーム）東京ディズニーランド	幼児・学童	9
29. 12. 2～3	ホーム旅行（マリアホーム）仙台	学 童	8
30. 1. 16	プレイルーム旅行 上野動物園他	幼 児	8
30. 1. 13～14	転地養護（那須サファリパーク他）	学 童	9
30. 2. 3～4	転地養護（日光江戸村他）	学 童	10
30. 2. 24～25	ホーム旅行（ラファエルホーム）キッザニア他	幼児・学童	12

2-⑧ 自立生活訓練の状況

実施期間	対象児	内 容	場 所	期 間
5月27日～30日	高校2年女児①	一定の生活費による生活訓練	ヨゼフホーム	4日間
5月31日～6月4日	高校2年女児①	〃	ヨゼフホーム	5日間
7月15日～17日	高校3年男児①	〃	ヨゼフホーム	3日間
7月18日～23日	高校2年女児①	〃	ヨゼフホーム	6日間
8月12日～16日	高校2年女児①	〃	ヨゼフホーム	5日間
9月2日～9月30日	高校2年女児②	〃	ヨゼフホーム	29日間
10月1日～10月15日	高校2年女児②	〃	ヨゼフホーム	15日間
10月16日～10月23日	高校2年男児①	〃	ヨゼフホーム	7日間
11月23日～12月1日	高校2年女児②	〃	ヨゼフホーム	9日間
12月31日～1月7日	高校2年女児②	〃	ヨゼフホーム	8日間
1月13日～2月12日	高校3年男児②	〃	アントニーホーム	31日間
1月26日～1月31日	高校2年女児③	〃	ヨゼフホーム	6日間
2月7日・21日	高校3年男児1名	自立支援プログラム参加	和光学園	2日間

2-⑨ 健康保健・性教育に関する活動状況

実施日	内 容	対象	人数
29.6.11	性の健康及び性病について	小学生高学年	2
29.6.28	子どもの性問題行動への支援・Q&Aこんなときどう対応しますか？	職 員	28
29.7.8	へその役割・基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認	小学生低学年	7
29.7.12	性被害事案件への介入のポイント	職 員	20
29.7.29	生命誕生・いいタッチわるいタッチ	小学生低学年	7
29.8.7	被害者にならないためのロールプレイ（断り方）・友だちと仲良くするためのロールプレイ（頼み方）	小学生低学年	7
29.8.7	基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認・いいタッチわるいタッチ・被害者にならないためのロールプレイ（断り方）	小学生高学年	9
29.8.8	加害者にならないためのロールプレイ（ケンカをしないための方法）	小学生低学年	7
29.8.8	友だちと仲良くするためのロールプレイ（頼み方）・加害者にならないためのロールプレイ（ケンカをしないための方法）	小学生高学年	9
29.8.9	生命誕生・第二性徴について	小学生高学年	9
29.8.23	基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認	小学生中学年	3
29.8.30	いいタッチわるいタッチ・被害者にならないためのロールプレイ（断り方）	小学生中学年	3
29.9.11	友だちと仲良くするためのロールプレイ（頼み方）	小学生中学年	3
29.9.13	生命誕生・加害者にならないためのロールプレイ（ケンカをしないための方法）	小学生中学年	3

実施日	内 容	対象	人数
29. 9. 16	体の変化、大人になるために	小学生低学年	5
29. 10. 21	保清（体の洗い方・トイレの使い方のマナー）	小学生中高学年	10
29. 11. 22	性被害開示への初期対応（ロールプレイ）	職 員	26
29. 12. 26	基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認（フォローアップ）	小学生低学年	7
29. 12. 26	基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認・いいタッチわるいタッチ	中学生	9
29. 12. 27	思春期、第二次性徴について・体の構造について・性感染症について・L G B Tについて	中学生	9
29. 12. 28	社会的なマナーについて・暴力について・デートDVについて	中学生	7
30. 2. 10	思春期の心と体の特徴について・プライベートゾーンについて・性的接触、セックスについて・生殖行動について・暴力（特に性暴力について）・性感染症について	高校生	10
30. 3. 3	思春期について・男の子女の子のからだ・誕生（日）について	小学生	19
30. 3. 3	思春期について・セックスについて・ストロークとディスカウントについて	中学生	8
30. 3. 4	基本感情の理解・プライベートゾーンと性行動のルールの確認・いいタッチわるいタッチ	小学生高学年	2
30. 3. 5	大切なことと体・ルールがあるのはなぜか？ルールを守ることが大切なのはなぜか？	小学生高学年	2

2-10) 世代間交流

実施日	活 動 内 容	参加人数
29. 11. 25	特別養護老人ホーム訪問 特別養護老人ホームを訪問し歌やハンドベル、遊戯を披露しました。	47

2-11) 民区・地域との交流の状況

日 時	名 称	参加者	内 容
29. 4. 12	一関市春の一斉清掃参加	30	地域の人たちと一斉清掃に参加
29. 7. 29～30	民区山手ラジオ体操	16	民区のラジオ体操に児童と職員が参加
29. 7. 29	民区山手縁日	28	民区の縁日に児童と職員が参加
29. 8. 6	一関夏祭り子ども神輿	31	民区の神輿を担ぎ、市内を巡行
29. 12. 17	冬のお楽しみ会	24	民区行事として陶芸教室に参加
30. 3. 20	卒業生を送る会・新1年生歓迎会	18	小学生を中心に参加
年 間	職員が健全育成部に所属し地区懇談会や世話人会、民区行事、交通安全指導、夏の巡回指導等を実施しました。また、一関夏祭りの太鼓の練習や民区行事の際に体育館を開放しました。		

2-12 親子訓練室（ヨゼフ寮）の利用状況

期 間	日 数	利用者	児童数	備 考
29. 8. 7～ 8	1 泊 2 日	利用者の家族	2	親子で宿泊
29. 9. 9～10	1 泊 2 日	利用者の家族	4	親子で宿泊

2-13 進学支援寄附金給付事業の状況

対象児	進 学 先	備 考
高校 3 年男児	岩手県産業技術短期大学校 建築科	入学金及び授業料の援助
高校 3 年男児	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ高度調理科	入学金及び授業料の援助

2-14 食育の実施状況

月 日	内 容	対 象	参加児童数
29. 6. 3	「自分で食材を選んで作ってみよう」 買い物で食材の名前や選び方を覚える	女子小学生	4
29. 6. 26	「目指せ自立！テーブルマナーを覚えましょう」（講話） 基本的な食習慣を身に付ける。食べることの感謝	小学生	2
29. 7. 22	「じぶんで、おひるごはんをつくってみよう」 食事を作る 実習の雰囲気を知る	小学生	5
29. 10. 23	「食材を選んで作ってみよう」 基本的な調理の仕方を身に付ける	女子小学生	3
29. 10. 24	「郷土料理を作ろう」 地域の食材や季節の料理に関心を持つ	女子中学生	4
29. 11. 23	「みんなで郷土料理に挑戦してみよう」 地元の食材を使って季節の郷土料理を作る	男子中学生	6
29. 12. 16	「自分たちで食材を選んで作ろう」 買い物で食材の名前や選び方を覚える	男子小学生	3
30. 2. 17	「みんなのおやつをつくりましょう」 基本的な調理の仕方を身に付ける	女子高学生	7

2-15 自主献立実施状況

ホーム名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
ミ カ エ ル												
フランシスコ							23					17
ガブリエル		29						12	3・8		11	
ル カ	24	22		26		19			10			1・8
ラファエル					13							
テ レ サ	9		18					18				
マ リ ア	15		17	8	19	16	21	19	17		3・16	

※自主献立は子どもの要望を聞いて献立を立て買い物から調理までを行うこと。

2-10 行事食の状況

月	行 事	献 立 名
4 月	入学式 入園式 復活祭 園遊会	お赤飯 ミートソース サンドイッチ 刺し身 ビーフンチャー 他 ちらし寿司 骨付き鳥もも肉 フライドポテト いちご フランクフルト たこ焼き 焼き鳥 玉こんにゃく 焼とり 焼きそば 他
5 月	憲法記念日 みどりの日 こどもの日 開園記念日 運動会	手巻き寿司 すまし汁 甘酢生姜 果物 山菜ごはん とん汁 浅漬け フルーツヨーグルト オムライス コンソメスープ 生野菜サラダ フライドポテト 柏餅 もち料理 紅白大福 のりまき いなりずし ポークウインナー 枝豆 卵焼き メロン 他
6 月	手作りおやつ	ピーチゼリー
7 月	七 夕 海の日 丑の日	七夕ビビンバ丼 春雨スープ キムチ漬け スイカ 海鮮かき揚げ丼 かき玉汁 浅漬け プラム うなぎ弁当 みそ汁 フルーツポンチ
8 月	山の日 夏祭り 焼き肉招待	グリーンピースご飯 豚汁 ところてん 和え物 フルーツポンチ おにぎり 流しソーメン わたあめ フランクフルト かき氷 他 焼肉 ジュース 他
9 月	防災の日 バーベキュー 幼稚園運動会 敬老の日 秋分の日	ごはん とん汁(缶詰) さばみそ煮缶詰 梅干し 焼肉 ひつまぶし かに汁 サラダ ジュース マスカット 他 のりまき いなり寿司 チキン フライドポテト 卵焼き ぶどう 他 ちらし寿司 なめこ汁 フルーツポンチ きのこご飯 芋の子汁 ほうれん草の胡麻和え フルーツ杏仁豆腐
10 月	十五夜 運動会 体育の日 手作りおやつ	滝見だんご 枝豆 栗 りんご さつま芋 梨 ぶどう他 お寿司弁当 ジュース ぶどう さつま芋ごはん 芋の子汁 浅漬け フルーツポンチ 焼き芋
11 月	文化の日 勤労感謝の日	五目ごはん(栗入り) 芋の子汁 鮭ホイル焼き フルーツポンチ ビビンバ丼 みそ汁 ヨーグルト 浅漬け 果物
12 月	サンタニコラオ 冬 至 天皇誕生日 クリスマスイブ クリスマス会(バイキ ング) 大みそか	手作りサンタクッキー りんご 小倉南瓜 ミートソース カルピス キウイ ちらし寿司 ブリン 骨付き鳥もも肉 コンソメスープ マッシュサラダ 他 お寿司 ピザ サンドイッチ フライドポテト サラダ ケーキ 果物 他 そば汁 尾頭付鯛 煮しめ 口取り スルメ オードブル 他
1 月	お正月 七草 鏡開き 成人の日 鍋の日	雑煮餅 お刺身 紅白なます 黒豆 伊達巻 刺し身 エビフライ 他 もち献立…雑煮 納豆 あんこ きな粉 紅白なます みかん ちらし寿司 なめこ汁 フルーツポンチ 寄せ鍋 果物
2 月	節 分 手作りおやつ 卒園生希望献	恵方巻き みそ汁 ケーキ大福 豆まき チョコラスク 天丼 中国ラーメン 焼き芋 刺し身
3 月	ひなまつり 卒業式 卒園式 東日本震災の日 春分の日 手作りおやつ	ちらし寿司 あさりみそ汁 浅漬け ヨーグルト 果物 刺し身 天ぷらうどん エビフライ 他 非常用…パックごはん インスタントみそ汁 牛丼の素 乾パン ミートスパゲッティ カルピス フルーツ白玉 他 きな粉揚げパン

2-17 病院受診の年度別の推移（延べ人数）

年度	受診科 内 科 小児科	耳鼻科	歯 科	眼 科	外 科	皮膚科	心 療 内科他	計	率 H24=100
29 年度	236	61	271	37	21	112	71	609	124%
28 年度	254	56	101	31	36	70	76	624	127%
27 年度	263	77	131	47	60	137	76	791	161%
26 年度	250	45	135	36	38	58	44	646	131%
25 年度	208	35	103	34	56	50	102	588	120%
24 年度	135	40	84	29	45	68	91	492	100%

2-18 予防接種の実施状況

年 月	予防接種の種類	対象児	延人数
29 年 4 月	二種混合 日本脳炎	学童児	3
29 年 6 月	日本脳炎	幼児	1
29 年 7 月	二種混合 日本脳炎	学童児	7
29 年 8 月	日本脳炎	学童児	2
29 年 9 月	日本脳炎	学童児	1
29 年 10 月	日本脳炎 インフルエンザ	幼児・学童児	28
29 年 11 月	インフルエンザ	幼児・学童児	30
29 年 12 月	インフルエンザ	幼児・学童児	3
30 年 1 月	日本脳炎	幼児・学童児	3
30 年 3 月	日本脳炎	学童児	1
計			79

2-19 幼児の健康診断

月 日	児童数	医療機関	月 日	児童数	医療機関
29 年 4 月	4	菊池内科（内科検診）	29 年 7 月	1	久保田歯科（歯科検診）
29 年 10 月	6	〃	30 年 3 月	5	久保田歯科（歯科検診）

2-20 心理療法の実施状況

内 容	心 理 療 法	心 理 検 査	生 活 面 接	職員への 助 言	ケース会議 等への出席	※その他	計
回 数	563 (314)	14 (12)	91 (50)	43 (15)	42 (11)	68 (6)	821 (408)

（ ）内は前年度

3. 人事・労務・人材育成関係

【平成29年度人事・人材育成の総括】

平成29年度は、新任職員8名を採用し41名でのスタートとなりました。平成28年度に比べて実質的には、5名（時間数4.5名）の増員となりました。期中で退職や異動があり、年度当初の職員配置基準が4:1であったものの平成29年10月時点では5.5:1となりました。職員体制は、副園長職は空席となりましたが、基幹的職員3名を配置して各々運営管理や家庭支援、養育担当としてその任にあたりました。

施設運営の根幹は人材育成であることから、特に新任職員の研修に力を入れました。OJTを中心とした研修等により職場にも慣れ、基本的な業務を遂行することができるようになりました。また、職員の処遇改善として一定条件での研修履歴等の基準があることから外部研修にも職員を積極的に派遣しました。併せて、国の処遇改善策に伴い直接処遇職員及び専門職等に対して処遇改善手当Ⅰ～Ⅲを支給するとともに全職員を対象に一時金を支給するなど給与改善に努めました。

措置費に占める人件費率は57.42%であり、同種別の児童福祉施設と比較しても高い数値ではありません。必要な人材を確保し適正な業務評価による処遇改善を図りながら更に働きがいのある職場を目指していきます。

3-1(1) 平成29年度人事・労務・研修の重点施策の評価

	重点施策項目	※評価	具体的成果や課題
1	職員の人材確保	B	平成29年度は5名の児童指導員（正職）と2名の保育士（正職）、1名の調理員（パート職員）を採用しました。期中に2名が退職したことから職員配置基準を4:1にすることはできませんでした。来年度に向けて個別対応職員や里親支援専門相談員の専任化を検討します。
2	総合的な人事管理の仕組みづくり	C	総合的な人事管理の仕組みづくりについては、具体的な取組みを行うことができませんでした。来年度に向けて研修体系や個別研修計画、業務管理シートの作成などを通して人事管理、業務管理の改善を図ります。
3	メンタルヘルスケアの推進	B	具体的な取組みはありませんでしたが、若い職員が増えたこともあり、できるだけ悩みを抱え込まないようにしました。風通しの良い職場を意識し面談を実施するなど職員間のコミュニケーションを高めました。
4	働きやすい職場づくりの推進	B	月間勤務表及び週間勤務表を作成し労働時間の管理を図りました。職員間の協力体制、業務分担の均衡を考慮し、必要に応じて業務分担を変更するなど柔軟に対応しました。

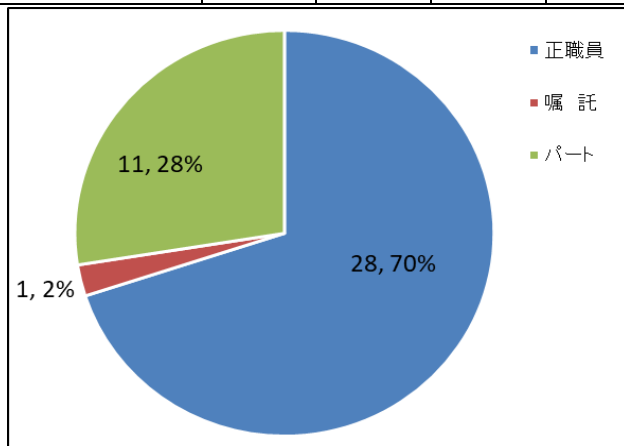
※評価 A・・・十分な取組みができた B・・・ほぼ取組めた C・・・取組みが不十分であった

3-2) 職員の状況（平成30年3月31日現在）

職 種	園長	副園長	事務員	指導員	保育士	栄養士	調理員	F S W	個別	心理	看護師	他	合計
正 職 員	1		1	12	8	1	1	1	1	1		1	28
嘱託職員											1		1
パ ー ト					2		4					5	11
現 員 数	1		1	12	10	1	5	1	1	1	1	6	40

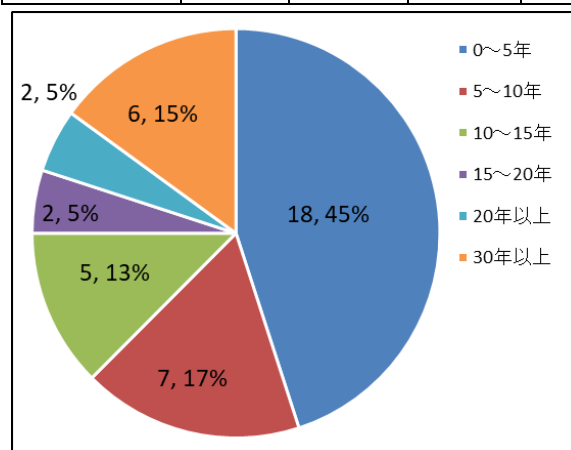
3-3) 職員数の推移（平成30年3月31日現在）

年 度	正職員	嘱 託	パート	計
29 年度	28	1	11	40
28 年度	25	1	12	38
27 年度	20	10	9	39
26 年度	18	10	10	38
25 年度	18	9	6	34
24 年度	18	7	5	30



3-4) 職員の経験年数（平成30年3月31日現在）

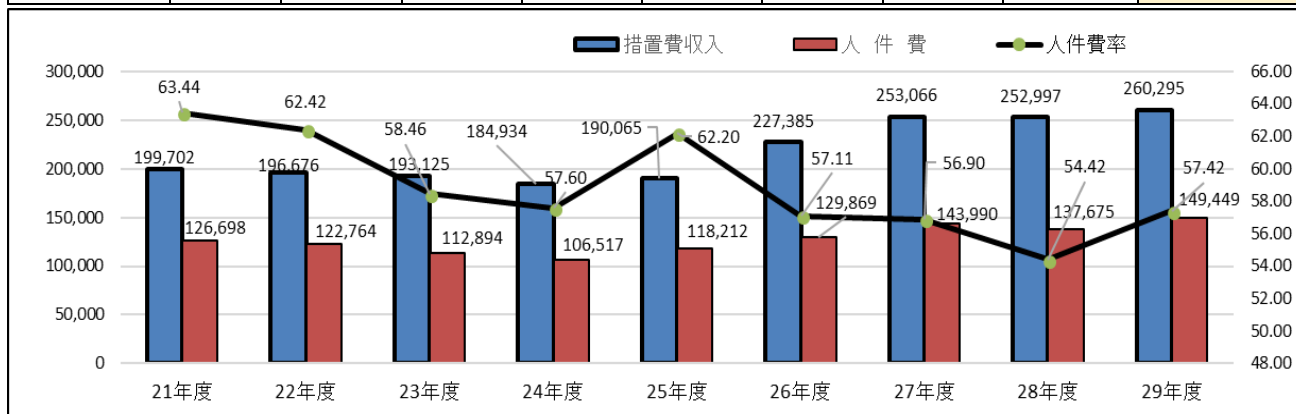
経験年数	男	女	計	率
0 ～ 5 年	2	16	18	45%
5 ～ 10 年	3	4	7	18%
10 ～ 15 年	2	3	5	13%
15 ～ 20 年	0	2	2	5%
20 年 以上	1	1	2	5%
30 年 以上	1	5	6	15%



3-5) 人件費の推移（事業活動収支計算書より）

(単位：千円・%)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
措置費収入	196,676	196,676	193,125	184,934	190,065	227,385	253,066	252,997	260,295
人 件 費	122,764	122,764	112,894	106,517	118,212	129,869	143,990	137,675	149,449
人 件 費 率	62.42	62.42	58.46	57.60	62.20	57.11	56.90	54.42	57.42



3-6) 内部研修の状況

日 時	研 修 名	参加者	研 修 内 容
29. 5. 31	平成 28 年度の第三者評価結果についての考察	12	内容評価の項目について改善策を話し合いました
29. 6. 14	社会人としてのマナーアップ講座 (講師ベリーノホテル 小山 仁朗氏)	31	「好感を持たれる施設職員とは」をテーマに接遇について学びました
29. 7. 12	安全委員会の要点 事例検討・マニュアルの確認	20	安全委員会の要点について説明した後にグループ毎に事例検討
29. 7. 12	C A P職員向けワークショップ (講師：C A P岩手)	7	新任職員を対象にC A P岩手によるワークショップを実施しました
29. 7. 12	子どもの権利ノートの読み合せ。人権擁護のためのチェックリストについて	29	グループ毎に権利ノート及びチェックリストについて理解を深めました
29. 10. 18	聖書研究～基本理念の理解を深める～ (講師：山浦玄嗣氏)	32	カトリック精神と基本理念である祈りと感謝について理解を深めました
29. 10. 25	家庭でできる小児の体調チェック (講師：菊池内科医院 菊池医師)	29	子どもの諸症状とそのケアについて理解を深めました
29. 11. 22	性被害の開示への初期対応について	25	性被害の初期対応や事例についてワークショップを実施しました
29. 11. 29	問題行動発生時の対応について	25	事故（問題行動）が起きた時の対応について理解を深めました
29. 11. 29	物をとったり、盗んだりしてしまう理由	25	村田心理士から物をとってしまう心理と対応について理解を深めました

3-7) 外部研修の状況

日 時	研 修 名	主催団体名	開催場所	参加職員名
5. 15	社会福祉法人制度改革事務研修会	岩手県	奥州市	渡部他 2 名
5. 25	東北B施設長研修会	東北B児童養護施設協議会	盛岡市	渡部
6. 15～16	東北B児童養護施設研究協議会	東北B児童養護施設協議会	秋田市	渡部他 3 名
6. 26	あんしんサポート相談員養成研修	県経営協青年部会	盛岡市	千葉（美）
6. 26～27	性的虐待等に関する専門研修	きぬかわ学園	栃木県	村田
6. 27～28	日本カトリック全国研修会	日本カトリック児童施設協議会	熊本市	遠藤幸他 1 名
7. 8	児童福祉施設職員研修	県社会福祉協議会	盛岡市	種市
7. 5～6	キャリアパス研修（新任者）	県社会福祉事業団	盛岡市	太田他 2 名
7. 13～14	キャリアパス研修（新任者）	県社会福祉事業団	盛岡市	小野寺他 1 名
7. 19～20	キャリアパス研修（新任者）	県社会福祉事業団	盛岡市	吉田他 1 名
7. 10	児童家庭相談対応職員研修会	一関児童相談所	奥州市	千葉美他 1 名
7. 13	岩養協事務福利厚生部学習会	県児童養護施設協議会	花巻市	佐藤麻他 1 名
7. 18	被措置児童の権利擁護研修会	岩手県児童養護施設協議会	盛岡市	太田他 3 名
8. 4	リスクマネジメント研修（実践編）	県社会福祉事業団	盛岡市	遠藤玄
8. 4～8. 6	日本E A D R 学会継続研修	日本E A D R 学会	東京都	村田
9. 4	施設心理職員研修会	県児童養護施設協議会	盛岡市	村田

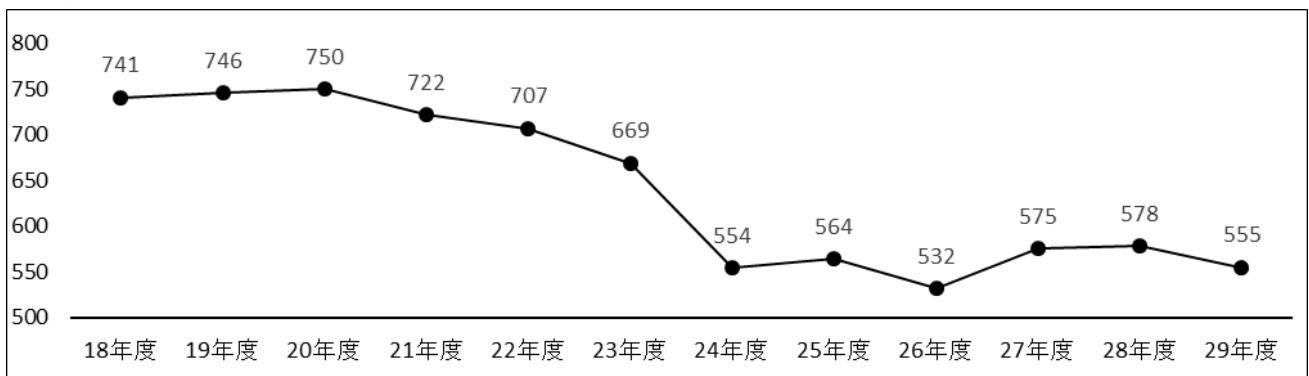
9.6～7	東北カトリックB職員研修会	東北Bカトリック児童施設協議会	弘前市	渡部他3名
9.27～28	キャリアパス研修（中堅職員）	県社会福祉事業団	盛岡市	石川他1名
9.28～29	東北B初任者研修会	東北B児童養護施設協議会	青森市	太田他2名
10.10	被措置児童の権利擁護研修会	岩手県児童養護施設協議会	花巻市	石森他3名
10.11	社会的養育ビジョン特別セミナー	全国児童養護施設協議会	東京都	渡部
10.13	児童福祉施設給食研修会	ブロック別児童福祉施設協議会	福島市	今野
10.27～12	岩養協事務福利厚生部研修会	県児童養護施設協議会	福島県	佐藤他2名
11.6	児童協施設間交流研修	岩手県児童福祉施設協議会	盛岡市	白浜
11.7～10	全国児童養護施設長研究協議会	全国児童養護施設協議会	鳥取市	佐藤道
11.12	子ども虐待防止講演会	社会福祉法人大洋会	大船渡市	古村他1名
11.12	発達障がい対応力向上研修	一般社団法人岩手県医師会	盛岡市	菊地他1名
11.21～22	キャリアパス研修（Tリーダー編）	県社会福祉事業団	盛岡市	遠藤玄他1名
11.26～28	災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修	岩手県社会福祉協議会	盛岡市	遠藤玄
11.28～29	安全委員会全国大会	全国安全委員会協議会	山口市	平・小野寺
11.28～29	関東B児童養護施設事務職員研修	関東B児童養護施設協議会	埼玉県	佐藤麻
11.28	メンタルヘルス研修（管理者編）	県社会福祉事業団	盛岡市	佐藤道
12.13～14	社会的養護児童福祉施設長研修会	全国児童養護施設協議会	東京都	渡部
1.30～31	ファミリーソーシャルワーク研修	全国児童養護施設協議会	東京都	千葉美他1名
1.30	児相と児童福祉施設心理担当職員等研修	岩手県総合相談センター	盛岡市	村田
2.20	あんしんサポート相談員養成研修	県経営協青年部会	盛岡市	佐藤道
2.13～14	全体研修会	県児童養護施設協議会	花巻市	渡部他4名

4. 入所児童に関する統計

4-1) 初日在籍数

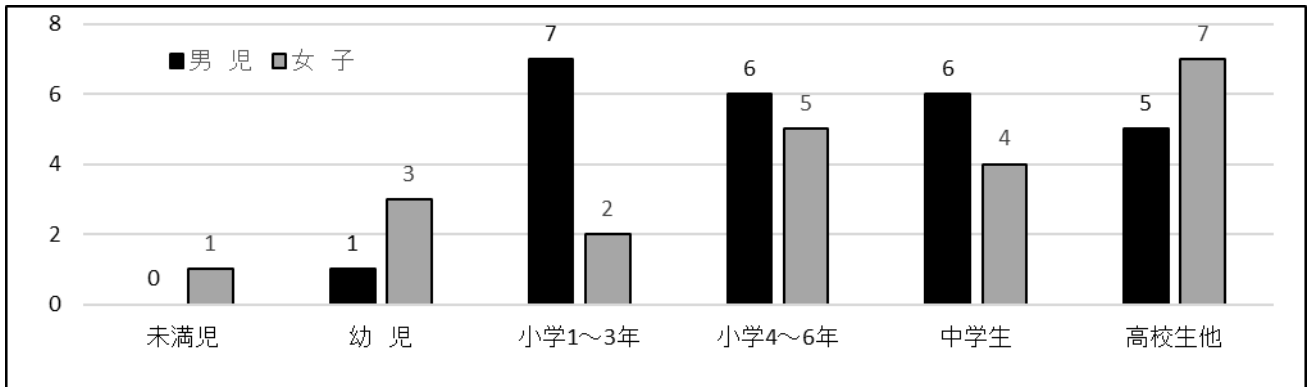
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍数	46	46	47	47	47	47	46	46	46	45	45	47	555
3歳未満児	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
年少児	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	52

4-2) 年度別初日在籍数の推移



4-2) 学年別の内訳（平成30年3月1日現在）

	未満児	幼 児	小学1～3年	小学4～6年	中学生	高校生他	計
男 児	0	1	7	6	6	5	25
女 子	1	3	2	5	4	7	22
計	1	4	5	12	10	12	47

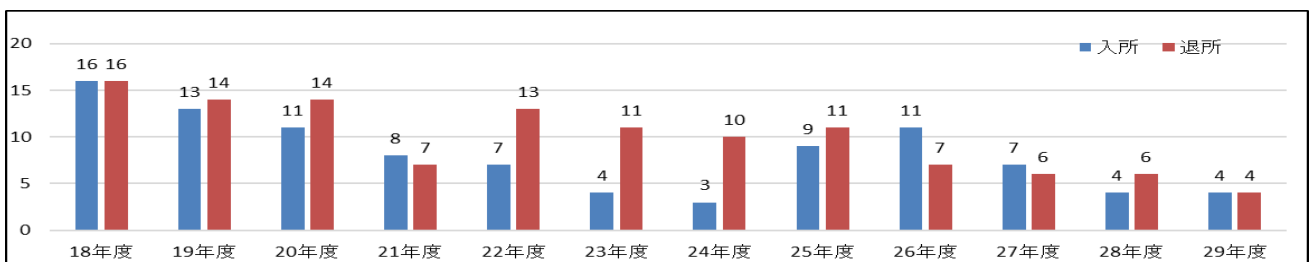


《児童の高校進学先》 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校 一関清明支援学校高等部 水沢第一高等学校

4-3) 平成29年度入退所の状況

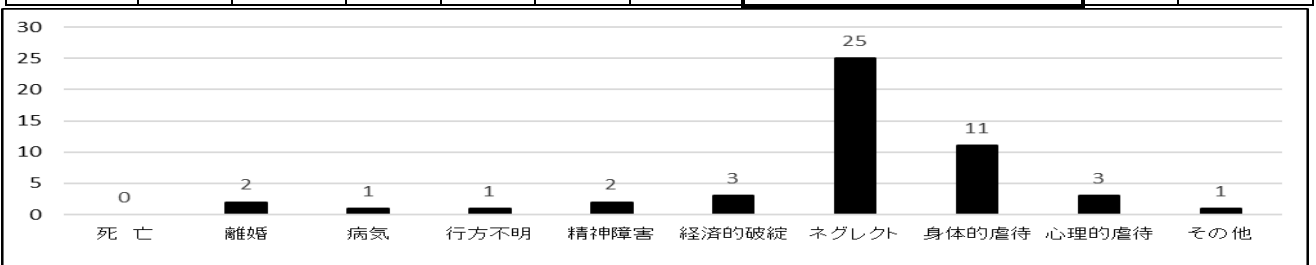
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
退 所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	4

4-4) 年度別入退所の推移



4-5) 入所原因別内訳（平成30年3月1日現在）

理 由	死 亡	病 気 入 院	離 婚	父母行 方不明	精 神 障 害	経済的 破 綻	ネグレクト	身体的 虐 待	心理的 虐 待	その他	計
児童数	0	1	2	1	2	3	25	11	1	1	47
比 率	0.0	2.1	4.3	2.1	4.3	6.4	53.1	23.4	2.1	2.1	100.0
							78.6				

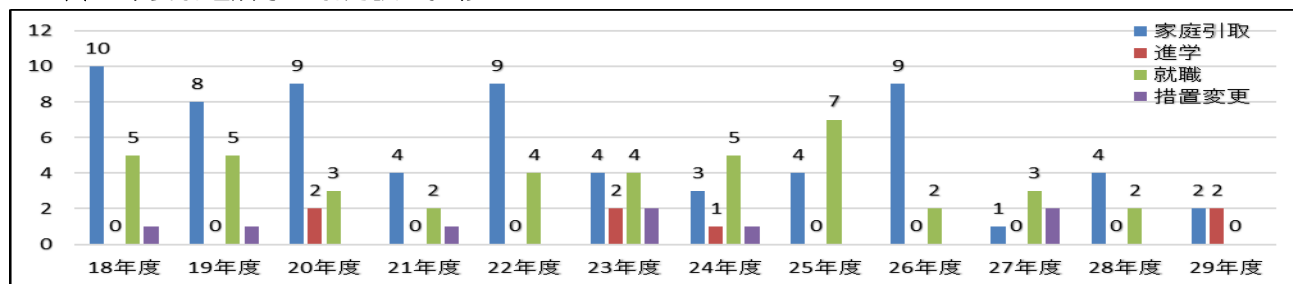


入所児童の状況は、何らかの虐待を経験した児童が8割弱となっており、年々増加傾向にあります。身体的・精神的な疾患を抱えている児童も5割を超えています。一人親家庭は4割、乳児院からの措置変更により入所した児童は3割となっています。出身市町村別では一関市及び奥州市を合せて9割、児相別では一関児童相談所からの措置入所が8割となっています。

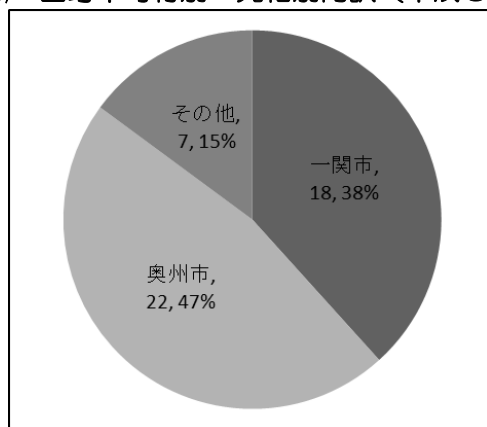
4-6) 退所原因別内訳

理 由	家庭引取	進 学	就 職	措置変更	計
児童数	2	2	0	0	4

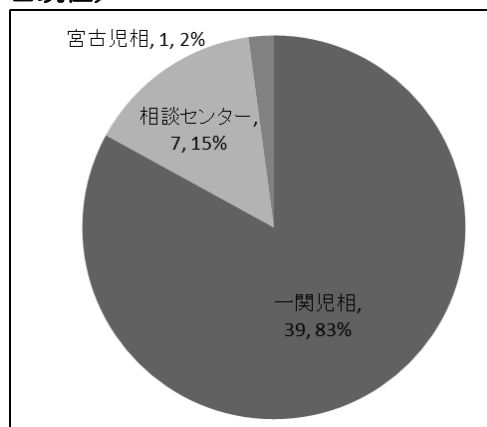
4-7) 年度別退所原因別内訳の推移



4-8) 出身市町村別・児相別内訳（平成30年3月1日現在）



【出身市町村別内訳】



【児童相談所別内訳】

4-9) 在園期間の内訳（平成30年3月1日現在）

	0～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7～8年	8～9年	9年以上	計
男 児	2	3	3	5	4	0	2	1	1	4	25
女 児	2	1	1	5	4	0	0	1	1	7	22
計	4	4	4	10	8	2	2	2	2	11	47
率	8.5	8.5	8.5	21.3	17.0	4.3	4.3	4.3	4.3	23.4	100.0

5. 設備・修繕・保守の状況

5-(1) 固定資産関係

(単位：円)

年 月	資 産 名	数量	取得価格	勘定科目	業 者 名
29. 10. 23	駐車場整備工事（借地）	1	936,360	構築物	大森工業（株）
29. 12. 1	駐車場整備外灯設置（借地）	1	129,600	〃	〃
29. 5. 15	ノートパソコン B35/R	1	118,800	器具及び備品	エクナ（株）
29. 6. 15	ノートパソコン lenovo	2	225,840	〃	〃
29. 8. 15	ノートパソコン dynabook	1	118,800	〃	〃
29. 6. 15	処遇援助システム	1	214,800	ソフトウェア	〃

5-(2) 修理・修繕・車両関係

(単位：円)

年 月	修理・修繕名	支出額	勘定科目	業 者 名
29. 5. 15	事務用椅子 13 台他	307,966	事務消耗品費支出	天童事務器
29. 12. 27	折り畳み椅子 60 脚及び台車	202,174	消耗器具備品費支出	アスクル
29. 12. 27	折り畳みテーブル（20）	179,060	〃	アスクル
29. 5. 15	水中ポンプ交換工事	378,000	修繕費支出	大成温調（株）
29. 6. 15	居室家具扉等修繕工事	108,000	〃	シブコー（株）
29. 7. 14	静養室改修工事	540,000	〃	岩手トヨペット（株）
29. 9. 21	マリア院カーペット敷工事	114,121	〃	協和木材（株）
29. 11. 2	園舎東側階段ガラス修理	236,680	〃	東北物産（株）
30. 2. 15	ワックス清掃（本園、マリア院）	168,480	業務委託費支出	寿広
29. 5. 14	ステップ修理	217,782	車両費支出	旭自動車工業（株）
29. 7. 14	ハイエース車検	190,000	〃	岩手トヨペット（株）
29. 11. 7	スタットレスタイヤ（3 台分）	134,000	〃	タイヤ館一関

5-(3) 設備保守関係

年 月	保 守 点 検 名	業 者 名	備 考
毎 月	エレベーター保守点検	（株）日立ビルシステム東北支社	異常なし
毎 月	浄化槽保守点検	セレクトクリーン花泉（有）	〃
毎 月	冷暖房設備保守点検	大成温調（株）	〃
年 2 回	消防機器設備保守点検	旭電通（株）	〃
	電気設備保守点検	電気保安協会	〃
	パソコンネットワーク保守他	エクナ（株）	〃

6. 年間主要行事

月	園 行 事	学校・民区行事	その他
4	ご復活 園遊会 消防点検	入学式（小・中学校他） 授業参観（中学校他）	法人理事会 岩養協各専門部主任会議 岩養協幹事会
5	子どもの日 開園記念日 マリア祭	民区懇談会（小・中学校） 民区廃品回収 運動会（小・中学校）	法人理事会 児童養護東北ブロック総会 児福協幹事会
6	児童と職員のスポーツ大会 大船渡市長杯球技大会	遠足（幼稚園・小学校） 中・高総体 第1期考查（高校）	東北ブロック児養協研修会 児福協幹事会 一関児童相談所との協議会
7	転地養護（気仙沼 大島） ラジオ体操 花山サマーキャンプ	授業参観（小、中学校） 個人面談（幼稚園） 山手民区縁日 夕涼み会	里親推進会議 児童協専門委員会 岩養協職員研修 職員面談
8	ふれあいソフトボール大会 卒園生との交流会 マリア祭 ライオンズクラブ夏祭り	一関夏祭り子ども神輿 地区駅伝大会（中学校） 夏休み作品展（小学校） 連絡協議会（小学校）	岩養協幹事会 要対協実務者会議
9	B B S 球技大会 B B Q	新人体育大会（中学校） ふれあい参観（小学校） 第2期考查（高校） 運動会（幼稚園）	指導監査 岩養協給食主任会議 東北B新任職員研修 児童協研修
10	プロレス招待 乳児院訪問	遠足（幼稚園） 中間テスト（中学校） 文化祭 民区防災訓練	全国施設長研究協議会 安全委員会全国大会 児童協施設間交流会
11	ファンタジックコンサート招待 福光園慰問 待降節	職場訪問（幼稚園） 生徒総会（中学校） 学期末考查（中学校・高校）	安全委員会全国大会 第三者評価訪問調査 要対協実務者会議
12	サンタニコラオのお祝い クリスマス会 年末年始一時帰省 年越し	三者面談（中学校） クリスマスお遊戯会（幼稚園） 餅つき（幼稚園） 授業参観（小学校）	法人理事会 岩養協広報部主任会議 岩養協幹事会
1	新年挨拶・お年玉 転地養護 節分豆まき	3学期始業式 個別面談（幼稚園） 新入児一日入学	法人理事会 基幹的職員研修
2	節分豆まき エンジェルサポート研修 花山スノーキャンプ	新入園児面接（幼稚園） 民区PTA総会 3学期考查（中学校・高校）	岩養協全体研修会 児童協専門委員会 カトリック中央協議会
3	ひなまつり 里親との交流会 ホーム異動	授業参観（小学校） 公立高校入試 3学期終業式、卒業式	法人理事会 岩養協幹事会 里親委託推進委員会

平成29年度一関藤保育園事業報告

1. 一関藤保育園基本理念・基本方針・保育目標

◆ 社会福祉法人ふじの園

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

◆ 一関藤保育園基本方針

キリスト教精神に基づき、可能性に満ちた一人ひとりの子どもたちは、より善いものを指向できる自由意志、美しい物に感動する豊かな感性を備えている。神から与えられたかけがえのない人格として受けとめ、個々の与えられた内的、外的生命力を十分発揮できるように相互の人格を尊重し、他者の立場を理解しあうことにより、思いやりや豊かな社会性が身につくように育む。

◆ 保育目標

- ・明るく元気で困難、失敗を恐れず意欲的に最後まで取り組む力
- ・思いやり、感謝の心、奉仕のこころ
- ・自ら考えて行動する力

2. 施設運営の総括

- ◆ 一関市からの措置児童は、定員 90 名に対して 97 名でした。そのうち 0 歳児は定員 5 名に対して 8 名の利用があり 4 月のスタート時点での乳児 8 名は今までにないことでした。障がい児の認定対象児も 1 名含まれていることから、職員配置基準を超える職員体制を取り保育の充実に努めました。
- ◆ カトリックの精神を継承していくことが大きな課題ですが、園内研修を利用して司祭やシスター（修道女）を講師に招いて、カトリック精神の理解に努めました。また、保育の中にキリスト教に関連した行事を大切に行うとともに、年長・年中組の園児を対象に月 1 回、オタワ修道会の石田職員に神様のお話を聞く取組みを行いました。
- ◆ 教育・保育の質を高めるためには人材確保と教育が必要不可欠ですが、外部研修への積極的な派遣や内部研修の充実に努めました。併せて、職員の経験年数や職責に応じて職員の処遇改善を図りました。

3. 入所年齢別入所状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
乳児	8	8	8	8	9	10	11	11	11	12	12	13	121
1～2歳児	30	31	31	32	32	32	32	33	33	34	34	34	388
3歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	17	17	18	223
4歳児以上	40	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	39	474
合 計	97	98	98	99	100	101	101	102	102	102	102	104	1206

4. 入所時内容概略

イ. 組別編成（平成30年3月31日現在）

組 別	年 齢	人 数	保育士数
つぼみ組	0～1歳	27	6
たんぽぽ組	2歳児	16	3
すみれ組	3歳児	9	1
	4歳児	10	2
	5歳児	11	1
ばら組	3歳児	10	1
	4歳児	10	1
	5歳児	11	1
合 計		104	16

ロ. 組別編成（平成29年4月1日）

組 別	男	女	計
0～1歳	13	8	21
2歳児	6	11	17
3歳児	10	9	19
4歳児	11	9	20
5歳児	10	10	20
合 計	50	47	97

5. 保育事業の概要

○ 保育方針

キリスト教的情操教育を根底とし、温かい雰囲気の中で子ども独自の人格の発展性を主眼としたモンテッソーリ教育法を取り入れ保育する。

○ 保育実践内容

◎モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、未満児は年齢別クラス、以上児は縦割クラスの中、午前中の保育時間に取り組み集中して活動に取り組むことで自己決定、自立へと導く。

◎食育

保育園における食育は、楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、「食べ物を選べる子」、「元気な体のわかる子」、「食べ物の育ちを感じる子」、「味のわかる子」、「料理のできる子」を目指して行う。

★食育・クッキング保育

年数回、年長児を対象に栄養士、保育士とともに実際に食材に触れ、調理器具を使用し調理実習を行う。子ども自身で調理した調理をみんなで実食する。

実施日	実施内容・メニュー	実施日	実施内容・メニュー
4月10日	稲の眼出し作業開始	11月2日	アイシングクッキーを作る
4月18日	種まき・おにぎりを作る	11月17日	もちつき誕生会
5月15日	田んぼ作り	1月5日	脱穀
5月25日	田植え	1月10日	おはぎ作り
6月13日	中華サラダ・シュマイを作る	2月14日	おやつパーティー
9月28日	稲刈り	2月22日	おわカレー
10月5日	稲こき	3月15日	食育サイエンスショー

★バイキング給食

食いたい気持ちを育て、自分の食べられる量が分かるようになることを目的とするセレクトパン給食を以上児クラスを対象に毎月1回水曜日に実施する。

セレクトパン メニュー	卵サンド	ハムカツサンド	フルーツサンド
	メロンパン	クロワッサン	ジャムパン
	ドーナツ	あんぱん	クリームパン

※9種類の中から4種類を選択して提供する。

★リクエスト給食

料理の名前を覚えたり献立を考えたりすることで「食」への関心を深める。年長児が自分たちで献立を考え、実際に給食で食べる。

実施日	メニュー
3月16日	・唐揚げ ・ひじきの煮つけ ・なめこ汁 ・いちご

◎特別支援児保育事業

★音楽療法

音楽を通して、子どもの心を癒し、様々なセッションを行い、楽しく参加することにより人と人との間で心理的なコミュニケーションを持てるように導く。

月 1 回第 3 水曜日 音楽療法士、特別支援専門員、保育士と実施する。

実 施 内 容
・ 3 歳児、4 歳児。5 歳児混合セッション
・ 5 歳児クラスセッション
・ 総合ミーティング

参加対象児	一関教育委員会 教育相談対象児	5 歳児	5 名	計 9 名
		4 歳児	3 名	
		3 歳児	1 名	
	年長児	19 名		

★定期巡回相談

実施日	対象児		巡回相談員	
7 月 3 日	一関教育委員会 教育相談対象児	16 名	特別支援 コーディネーター	3 名
			健康作り課 主任保健師	1 名

★育児相談

年 4 回 スーパーバイザーによる育児相談を実施

実施日	対 象	内 容
5 月 24 日	5 歳児	リズム・集団遊び
	職 員	担当児カンファレンス
	職員研修	「愛着ホルモン・オキシトシン」の講習
8 月 23 日	5 歳児	わらべ歌遊び
	5 歳児	リズム
	職 員	担当者カンファレンス
	職員研修	「わらべ歌指導」
10 月 31 日	4 歳児	キッズ・ステップ教室
	担当職員	発達スキル検討会
	職 員	担当児カンファレンス
1 月 31 日	4 歳児	親子ふれあい遊び他
	職 員	クラス担当・関係職員とのカンファレンス

★年間行事

月 別	行 事
4 月	1 進級・入園の日 1 PTA 総会 13 手作り弁当の日 19 職員会議 14 保育協議会総会 19 音楽療法 20 避難訓練 21 誕生会 18 クッキング（年長） 28 布団持ち帰りの日
5 月	9 内科健診 11 手作り弁当の日 23 職員会議 17 音楽療法 18 総合避難訓練 19 誕生会 24 保育指導 25 クッキング（年長） 27 布団持ち帰りの日 30 マリア祭
6 月	1 交通安全教室 2 歯科検診 6 避難訓練 13 クッキング（年長） 14 音楽療法 16 親子バス遠足 20 職員会議 23 誕生会・人形劇 27 プール開き 28 福光園交流会 30 布団持ち帰りの日
7 月	7 保育参観試食会（以上児） 18 避難訓練 19 音楽療法 21 誕生会・職員会議 28 布団持ち帰りの日 29 夕涼み会 4～7 体験学習（桜町中）
8 月	7 明生園交流会 18 避難訓練 22 保育指導 23 音楽療法 25 誕生会・職員会議 25 布団持ち帰りの日 28～9/1 体験学習（一関中） 17～30 修紅短大生実習 21～31 保育実習（盛岡短大） 28～9/14 保育実習（紅短大）
9 月	14 運動会総練習 14 手作り弁当の日 16 運動会 20 音楽療法 21 誕生会 22 職員会議 27 避難訓練 29 布団持ち帰りの日 26～29 個人面談 4～14 保育実習（盛短大） 19～10/3 保育実習（青葉短大）
10 月	3 交通安全教室 5 クッキング（年長） 12 手作り弁当の日 17 職員会議 18 音楽療法 19 総合避難訓練 20 誕生会 27 布団持ち帰りの日 31 保育指導 10～21 保育実習（青葉短大） 31 保育指導
11 月	1 内科健診 2 クッキング（年長・年中見学） 7 職場訪問（年少・年中・年長） 10 未満児参観・試食会 14 職員会議 15 七五三 17 もちつき誕生会 22 避難訓練・音楽療法 24 布団持ち帰りの日 20～待降節
12 月	2 避難訓練 6 ニコラオのお祝い 14 手作り弁当の日 20 音楽療法 13・14 お遊戯会総練習 16 クリスマスお遊戯会 20 職員会議 22 誕生会 22 布団持ち帰りの日 29～30 年末休み
1 月	1～3 年始休み 10 クッキング（年長） 11 手作り弁当の日 17 職員会議 17 音楽療法 19 誕生会 23 職員会議 24 避難訓練 26 布団持ち帰りの日 31 保育指導
2 月	2 節分 7 音楽療法 8 手作り弁当の日 8 卒業記念写真撮影 9 誕生会 14 おやつパーティー 15 職員会議 21 避難訓練 22 クッキング（年長） 23 布団持ち帰りの日 13～27 保育実習（修紅短大） 28 音楽療法 26～28 ボランティア（東北福祉大）
3 月	2 ひなまつり誕生会 7 避難訓練 8 手作り弁当の日 16 園内お別れ会 17 卒園式 20 職員会議 23 布団持ち帰りの日 28 ボランティア（藤の園） 29～30 新年度準備